

2011年6月14日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

学生・教職員のボランティア活動報告

「東日本震災支援活動報告会」を開催します

中部学院大学・中部学院大学短期大学部は、東日本大震災直後の3月14日、学生や教職員が被災地で必要とされているボランティア活動をサポートするための「東日本大震災支援センター」を設置しました。

これまで、教員は災害ボランティアコーディネーターとして、あるいは研究活動の一環として、学生は自発的に、岩手県や宮城県などの被災地でボランティア活動を行ってきました。同時に、同センターは、職員と学生が現地で家屋の分解などを体験し、それぞれの被災地で必要とされるボランティア活動に、より多くの学生が参加できる体制づくりを模索してきました。また、ボランティアの活動資金を募ってきました。

震災から3カ月が経ち、被災地では、子どもたちへの読み聞かせやアルバムの掃除などをはじめ、ボランティアへの炊き出しなどの後方支援など、より一層の継続的支援が求められています。今回、「現地ボランティア活動報告会」を開催し、これまで被災地で支援活動を行ってきた学生や卒業生、教職員が現状を報告、意見交換を行います。その中で、今後のボランティアのスタッフ募集や活動につなげていきたいと考えています。

記

- 日時 2011年6月16日（木）午後5時～午後6時30分
- 場所 中部学院大学 関キャンパス 2105教室
(関市桐ヶ丘二丁目1番地 TEL:0574-24-0628)
※ 各務原キャンパスと同時開催。
遠隔講義システムで両キャンパスをつなぎ、発表、意見交換を行います。
- 報告者 7名（在学生3名＝人間福祉学部、子ども学部、卒業生1名、
教員2名＝社会福祉学科、職員1名＝東日本大震災支援センター）
[ボランティア対象地域]
岩手県上閉郡大槌町、同大船渡市、同陸前高田市、宮城県気仙沼市、
同登米市ほか

以上

(本件に関するお問い合わせ先)

中部学院大学・中部学院大学短期大学部 東日本大震災支援センター事務局

担当：村上 進（教育研究センター事務部長） TEL:0575-24-2238 E-mail: murakami@chubu-gu.ac.jp

中部学院大学・中部学院大学短期大学部「東日本大震災支援センター」

[活動目的]

1. 被災地支援のための情報の収集と提供

東北地方太平洋沖地震に関係する一連の災害について、信頼できる情報の収集、教職員や学生にできる支援活動の検討と情報発信を行います。

2. ボランティア活動の調整と支援

学生の自発的な支援活動相互の連絡調整や、社会福祉協議会をはじめとする近隣の福祉団体、行政機関との情報交換を行い、募金活動、救援物資の収集、避難者受入れ支援等、中部学院大学の学生と教職員が志すボランティア活動を支援します。

3. これまでの主な活動

3月14日 東日本大震災支援センター設置

3月-5月 支援募金（卒業式、入学式など）

ボランティア受け入れ先確認のため、教職員を派遣（計3回）

6月16日 現地ボランティア活動報告会

4. 今後の活動予定

8月7-11日 学生による震災ボランティア派遣（予定、場所は岩手県あるいは宮城県）

9月5- 9日 学生による震災ボランティア派遣（予定、場所は岩手県あるいは宮城県）

[ウェブサイト]

中部学院大学・中部学院大学短期大学部 東日本大震災支援センター

<http://mobile.chubu-gu.ac.jp/view/37949/>